

ガーデニング



チューリップは球根の頭が土から出るぐらい浅く。ユリは古い根や新しい茎からも根が出るので、球根に付いている古い根を取らずに深く植える。

にやにやんと豪華



詰め詰めOKよ♡

球根をすき間なく植えてもきれいに咲く。思い切って詰めて、他の植物と混植すると、更に豪華になる。花壇の一角にまとめて植えるとアクセントに。

チョイ出し派



ユリ類は深植え派



水やりは大事



寒い時期でも

植えっぱなしでイন্দニヤ



球根類は宿根草と同じように、自然界では毎年、残った株から芽を出す。家庭では、ユリ、スイセン、ヒヤシンスなどは花が終わった後も土に植えたままでもOK。2~3年に1度、混んだ球根を植え替える。



様々な色を植えて華麗さアップ!

【秋植え球根で華麗に】

秋には、チューリップやヒヤシンス、ユリなど、たくさん球根類が回りまわります。豪華な花を咲かせる種類が多く、育てる楽しみも手軽に味わえ、初心者にも打ってつけ。色のきれいな新品種も増えています。

と、花が豪華に見える。

「育て方他」

- 秋植え球根は寒さに強く、冬でも案外、水分を好むヨーロッパやアジア原産の種類(チューリップ、ユリ、ヒヤシンス、スイセン、ムスカリなど)が大半。寒い時期もしっかり水やりすると元気に育ちます。家庭では、花が終われば、面倒な掘り起こしや乾燥貯蔵を行わず、軽くお礼肥えをしてそのまま鉢で貯蔵しても構いません。
- **植える方**
- 水やりを好むので、用土は排水と通気性の良いものを選ぶ。
- 球根の中に花を咲かす養分を持っている。根が出る時に肥料が多いと根先が傷みやすい。
- 鉢植えでは、根が伸びる場所を確保するため、球根の頭が見える程、浅く植える。幼芽が土に触れず、病気になる「コバエ」。
- 球根が触れ合うくらい密植する
- 冬場も思いのほか水を欲しがらる。チューリップなどは雪の下のジメジメした場所が大好き。
- 硬い外皮を持つ球根は、皮をむいて植えると根が出やすい。
- 秋に購入した球根を年末まで冷蔵庫(0度位)に貯蔵しておくこと意外と長持ちし、葉を短くしたり、早く花を咲かせたり出来る。ぜひ、挑戦してみてください。
- 一定期間の寒さ(2か月程)を受けないと花が伸びない種類が大半。必ず屋外で育てる。早春咲き種は温度が高いとつぼみが死んでしまう。
- 暑さに弱く、10月後半までは木陰や日覆いの下で育てる。
- 根の出始めに土を乾かすと傷みやすい。

プレゼント

「マグアンプK 中粒」250g²・609円を10人に。植えつけや植え替え時に、元肥として土に混ぜ込むだけ。1回与えるだけで、約1年間ゆっくり長く効き続け、植物の生育を良くします。23gの応募要領で。プレゼント番号=30、賞品名=マグアンプK 商品提供=ハイポネックス ジャパン ☎06-6452-4187